

市立札幌豊明高等支援学校

CASE.06

Town planning
in North

ぬくもりある木の案内板や名札で

親しみやすい役所づくりに貢献

地域とつながり成長する生徒たち。



市立札幌豊明高等支援学校は、知的障がいのある生徒を対象にした職業学科の特別支援学校です。学科はクリーンサービス科・流通サービス科・リサイクルサービス科・工芸ものづくり科・服飾ものづくり科の5つ。地元のリサイクル企業と提携してOA機器の解体や分別をしたり、病院やホテルで使う枕カバーを受注製作したりするなど、各学科の専門性を生かし、生徒が職業人として自立できるように実践的な作業学習を行っています。工芸ものづくり科が取り組んでいるのは、窯業と木工による製品作りです。木工部門では2021年、北区役所の篠路出張所の増築に合わせて、木製の窓口案内板や職員用ネームプレートなどを製作し、寄贈しました。木のぬくもりを感じる親しみやすい雰囲気の施設になったと利用者に好評で、同年、北区長から感謝状を贈呈されました。地域とのつながりを大切に育むこの学校で、生徒たちは伸び伸びと成長しています。



私が思う、
北区 の魅力・好きな場所

あいの里にある、大きな三日月湖を形成している茨戸川の風景が好きです。篠路には古い歴史があり、かつては藍の栽培が盛んだったと聞いています。あいの里の地名の由来もそこにあるのだとか。あまり知られていないようで、もっと多くの人に知ってほしいですね。

**市立札幌豊明高等支援学校
工芸ものづくり科 木工部門担当
教諭 皆川 康志さん**

手稻区在住。北海道教育大学岩見沢校卒。中学校美術教諭を経て特別支援学校教諭に。2016年、市立札幌豊明高等支援学校に着任。

性や良さを学んで、製品制作
触れてほしいので、助かりますね。それぞれの木の特
にはできるだけ多くの木に
お届けってくれました。生徒
たな交流も生まれました。
そうです。「入手困難なイヌ
エンジユをはじめ、シナなど
提供してくれることになった
この寄贈が縁となり、新
たな交流も生まれました。
北区土木センターが木材を
提供してくれることになった
ますね。それぞの木の特
性や良さを学んで、製品制作
触れてほしいので、助かりますね。それぞの木の特

市立札幌豊明高等支援学校
北区西茨戸4条1丁目1-1
TEL.011-774-2222
<https://www.homei-h.sapporo-c.ed.jp>
※コロナ禍のため、一般の人を対象とした販売会は現在休止しています。

りに生かしてもらえたう
と語ります。
授業では、一つの作業に没
頭したい生徒やレーザーが
得意な生徒など、一人一人
の個性に合わせて、製作物
や木の種類を変えているそ
う。難しい作業に挑戦して
成功した生徒のうれしそう
な顔を見るのが、皆川さん
にとって最高の瞬間です。「生
徒はいろいろなことを吸収
し、未来に向かってどんどん
変わっています。地域との
交流もいい社会勉強になる
と思いますね」。



窯業部門の生徒が作業学習で作るカッパ七輪(左)とシロクマ七輪。校内向けの販売会でもすぐに完売する大人気の製品です